

<開催要項>

主催 公益財団法人日本博物館協会  
共催 千葉県博物館協会、千葉県、千葉市教育委員会  
後援 文化庁、千葉市、千葉県教育委員会  
会期 令和5年11月15日（水）から11月17日（金）3日間  
会場 千葉市文化センター 【主会場】アートホール（3F）  
【分科会会場】セミナー室（5F）、会議室（9F）  
住所：〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1  
千葉中央ツインビル2号館3階  
TEL：043-224-8211

案内図



交通案内

【航空機をご利用の場合】

- ・羽田空港（連絡バス：約80～100分）→JR千葉駅
- ・羽田空港（京急空港線：16分）→品川駅（JR横須賀・総武線：約43～48分）→JR千葉駅
- ・成田国際空港（JR快速エアポート成田：44～46分）→JR千葉駅
- ・成田国際空港（連絡バス：約100分）→千葉中央駅

【鉄道をご利用の場合】

- ・JR総武線「千葉駅」、京成千葉線「千葉中央駅」下車徒歩20分
- ・千葉都市モノレール「葭川（よしかわ）公園駅」下車徒歩10分

【バスをご利用の場合】

千葉駅から京成バス

- ・のりば⑦：系統番号 千03, 千03-1, 千04 「中央二丁目」下車
- ・のりば⑧：系統番号 千05, 千06, 千07, 「千葉銀行中央支店」下車
- ・のりば⑨：系統番号 千01, 千02, つ02 「千葉銀行中央支店」下車

## <日程>

第1日目：11月15日（水）

会場：千葉市文化センター アートホール（3F）

時 間	プログラム
11:00～12:00	表彰式・記念撮影：博物館功労者・永年勤続者1号表彰 ※関係者のみ
12:00～13:00	受付
13:00～14:15	開会式 挨拶：山梨絵美子（日本博物館協会会長） 祝辞：文化庁、千葉県知事、千葉市長 表彰式：博物館功労者4号 棚橋賞、博物館活動奨励賞、日本博物館協会賞
14:20～15:00	基調講演「つながりをつくる博物館—多世代共創とウェルビーイング」 講師：稲庭彩和子（国立アトリエサーチセンター ラーニンググループ 副グループリーダー 主任研究員）
15:10～16:30	全国博物館フォーラム「改正博物館法を現場の運営に活かす」 ・文化庁からの行政報告 ・パネルディスカッション 講師：佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長） 講師：佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸課長） 講師：川口雅子（国立アトリエサーチセンター情報資源グループリーダー） 司会：半田昌之（日本博物館協会専務理事）
16:40～17:40 17:40～18:00	出展ブースプレゼンテーション 民俗芸能披露：浅間神社の神楽（稲毛浅間神社神楽連）
18:30～20:30	情報交換会（千葉市美術館 さや堂ホール）

第2日目：11月16日（木）

会場：千葉市文化センター アートホール（3F）、セミナー室（5F）、会議室（9F）

時 間	プログラム
9：30～12：00	分科会1「デジタルアーカイブと博物館DX」 分科会2「博物館と多様な主体」 分科会3「地域の特性と博物館」 ※各分科会の詳細は次頁をご参照ください。
12：00～14：00	昼食／休憩 (12：15～13：30予定 決議起草委員会) ※ 昼食／休憩が2時間となっております。ホワイエで開催中の出展ブース および市民サロン（5F）の展示にぜひお立ち寄りください。
14：00～16：00	シンポジウム「博物館法改正元年—つながり、交差する—」(分科会の総括) 司 会：半田昌之（日本博物館協会専務理事） 報告者：高科真紀（国立歴史民俗博物館特任助教） 報告者：小田真裕（船橋市郷土資料館副主査） 報告者：島立理子（千葉県立中央博物館生態・環境研究部長）
16：15～16：45	全体会議
16：45～	閉会式

第3日目：11月17日（金）

時 間	プログラム
8：00～18：00	エクスカーション ◆Aコース（市原・木更津方面） ◆Bコース（香取・成田方面） ◆Cコース（銚子・旭方面） ※各コースの詳細は6～10頁をご参照ください。

## <分科会詳細>

### 分科会 1 : 「デジタルアーカイブと博物館 DX」

内容：今回改正された博物館法では、デジタルアーカイブの作成と公開が博物館が行う重要な事業のひとつに位置づけられましたが、DXの推進が叫ばれる現在、博物館においても「デジタルアーカイブ」という言葉だけが一人歩きしているようです。この分科会では千葉県内のデジタルアーカイブ、DXの事例を中心に紹介し、今後のデジタルアーカイブ、DXの在り方を探ります。

コーディネーター：高科真紀（国立歴史民俗博物館 特任助教）

報告①「千葉県誕生 150 周年記念事業『みんなで創るふるさと千葉 古写真デジタルアーカイブ』について」

講師：玉井里奈（千葉県立中央博物館 研究員）

報告②「デジタル博物館による地域振興の可能性について」

講師：武田剛朗（大網白里市教育委員会 副主査）

報告③「美術品のデジタルアーカイブとその公開」

講師：松尾知子（千葉市美術館 学芸課長）

報告④「デジタルアーカイブ『琉球政府の時代』と利用審査」

講師：小野百合子（沖縄県公文書館 公文書主任専門員）

### 分科会 2 : 「博物館と多様な主体」

内容：今回改正された博物館法では、博物館の役割として、まちづくり、文化観光、福祉、国際交流といったさまざまな分野との連携による地域社会への貢献が努力義務とされています。これらの連携の在り方、可能性や発展の方向性について、県内事例を中心に紹介し検討します。

コーディネーター：小田真裕（船橋市郷土資料館 副主査）

報告①「動物園の野生動物を用いた屠体給餌～動物福祉と獣害問題をつなげる～」

講師：中山侑（千葉市動物公園 研究員）

報告②「対話型鑑賞ボランティアによる美術鑑賞プログラム ミテ・ハナソウ」

講師：西川可奈子（佐倉市立美術館 学芸員）

報告③「館山市立博物館と千葉大学デザイン文化計画研究室の連携—収蔵資料のデジタル化と活用」

講師：青木宏展（千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート デザイン文化計画研究室 助教）

郭庚熙（千葉大学大学院融合理工学府 博士後期課程）

宮坂新（館山市立博物館 学芸係長）

報告④「インクルーシブミュージアムへの道のり」

講師：安曾潤子（インクルーシブミュージアム代表）

### 分科会 3 : 「地域の特性と博物館」

内容：千葉県には、通勤・通学等で都内に行き来する県民が多くいます。特に都内へのアクセスが良い県西部は、ベッドタウンとして住民の増加傾向が続いており、これら地域の住民は、県内だけでなく都内の博物館にも日帰りで観覧に行くことができます。このような地域特性を有する千葉県にある博物館に、利用者は何を期待し、そして博物館はどのように活動すべきなのでしょう。県内事例を中心に紹介し検討します。

コーディネーター：島立理子（千葉県立中央博物館 生態・環境研究部長）

報告①「浦安の博物館『これまで』と『これから』－展示リニューアルを契機として－」

講師：尾上一明（浦安市郷土博物館 主任学芸員）

報告②「地域の急成長による文化施設の目的の変化」

講師：門脇伊知郎（株式会社流山ツーリズムデザイン 代表取締役CEO）

報告③「自然の少ない地域こそ、自然博物館の意義」

講師：金子謙一（市川自然博物館 学芸員）

報告④「変化するニュータウンと博物館」

講師：橋場万里子（パルテノン多摩 学芸担当係長）

### <エクスカーションコースの詳細>

※各コースの到着時間は予定になります。あくまで目安ですので、帰りの交通手段の時間には余裕をもって設定いただくようお願い致します。

#### ◆A コース（市原・木更津方面）（バス）

	千葉市（千葉駅前大通り大型バス発着場）	08：10 ⇒
⇒09：00	市原歴史博物館（博物館・歴史体験館含む）	10：10 ⇒
⇒10：50	クルックフィールドズ（全員に施設コンセプトなど解説）	
⇒11：00	クルックフィールドズにて昼食・見学	12：30 ⇒
⇒13：10	市原湖畔美術館	14：10 ⇒
⇒14：25	チバニアンビジターセンター・露頭面	15：20 ⇒
⇒16：10	海ほたる PA	16：40 ⇒
⇒17：10	羽田空港第1ターミナル	17：15 ⇒
⇒17：20	羽田空港第2ターミナル	17：25 ⇒
⇒18：00	東京駅 解散	

※チバニアンビジターセンター・露頭面の見学は、急な坂道を下る川辺での見学になり、足元が汚れる可能性が高いため、服装にはご注意ください。また、雨天時など河川が増水した際は見学が出来ない場合がありますので、予めご了承ください。

※希望者は羽田空港で下車できます。

※昼食代（1,980円）と各施設入館料（1,600円）が必要です。

◆Bコース（香取・成田方面）（バス）

	千葉市（千葉駅前大通り大型バス発着場）	08：15 ⇒
⇒09：15	千葉県立房総のむら（風土記の丘資料館含む）	10：45 ⇒
⇒11：35	香取市佐原着、市内自由見学・各自で昼食 （重伝建の町並み、伊能忠敬記念館、山車会館）	13：35 ⇒
⇒14：20	航空科学博物館	15：30 ⇒
⇒15：45	成田空港第2ターミナル	15：50 ⇒
⇒16：40	千葉市内 解散	

※香取市佐原は自由見学になりますが、山車会館の入館券を配布します。

昼食は当日配布する食堂案内MAPを参考に各自でお取りください。

※希望者は成田空港で下車できます。成田空港は第2ターミナルのみ立ち寄りします。

※各施設入館料（1,270円）と昼食代（各自負担）が必要です。

◆Cコース（銚子・旭方面）（バス）

	千葉市（千葉駅前大通り大型バス発着場）	08：00 ⇒
⇒09：20	旭市防災資料館	10：00 ⇒
⇒10：10	旭市飯岡刑部岬展望館	10：30 ⇒
⇒10：40	銚子ジオパークミュージアム	11：30 ⇒
⇒12：00	一山いけす（昼食）	13：00 ⇒
⇒13：10	犬吠埼付近（犬吠埼灯台、白亜紀浅海堆積物等）	14：20 ⇒
⇒14：30	銚子電鉄「犬吠駅」集合	14：37 ⇒
⇒14：53	銚子電鉄「銚子駅」（バスに乗車）	15：00 ⇒
⇒17：20	千葉市内 解散（※途中、野呂PAで休憩を含む）	

※犬吠埼から銚子電鉄にかけてはジオパークのガイドによる解説が付きます。

※「犬吠駅」に集合し、「銚子駅」まで全員で銚子電鉄に乗車します。

※昼食代（1,815円）と犬吠埼灯台参観寄付金（300円）とガイド料（180円）と銚子電鉄運賃（350円）が必要です。

< 見学施設の紹介 >

◆Aコース（市原・木更津方面）（バス）

コースのコンセプトは、千葉県内房地域の施設をめぐり、過去と未来をつなぐことを想定しています。市原歴史博物館とチバニアンで過去を、海ほたるで現在を、クルックフィールドで未来を感じて頂き、見学を通じて博物館の未来を考える機会となることを期待しています。

### 【市原歴史博物館】

市原市の歴史遺産を分かりやすく伝え、市民の主体的な活動と交流の拠点として令和4（2022）年11月にオープンした施設です。同館は、歴史博物館・歴史体験館・フィールドミュージアムの3つで構成され、民俗資料、歴史資料などが展示されているほか、体験スペースも完備しています。

### 【クルックフィールズ】

令和元（2019）年11月に第1期のオープンを迎えた「農業」「食」「アート」をテーマにしたサステナブルファーム&パークです。農業を中心に、サステナブルな未来の形を体験しつつ、野外に設置されたアート作品を鑑賞できる施設です。

### 【市原湖畔美術館】

平成7（1995）年に開館した観光・文化施設「市原市水と彫刻の丘」のリニューアルにより、平成25（2013）年に開館した、千葉県一の貯水面積を誇る高滝湖を望む自然豊かな美術館です。現代アートを中心とした企画展、地域・子どもに開かれたワークショップ、外に向かって展開するコミュニティ活動を通して、市原市が掲げる「アートによる地域づくり」の中核を担うユニークな美術館として活動しています。

### 【チバニアンビジターセンター・露頭面】

チバニアン（国指定天然記念物「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」）についてのガイダンス施設です。令和2（2020）年に国際地質科学連合に国際基準地（GSSP）として認定された地層についての解説があります。また、川岸に降りると境界模式層に設置されたゴールデンスパイクも見学できます。

### 【海ほたるPA】

東京湾内に設置された人工島にあるパーキングエリアで、国内でも他に類を見ない特異な建造物です。シールドマシンのモニュメントや東京湾岸を一望できる展望デッキなどを備えており、千葉県内の魅力的な施設の1つです。

## ◆Bコース（香取・成田方面）（バス）

コースのコンセプトは、北総の都市を回ること、千葉の過去と現在を体験していただくことです。房総のむらでは千葉県の過去を、航空科学博物館では成田空港を有する千葉県の現在を体験していただくことを目的としています。また、佐原の町並みは未来に伝統的な景観を残す努力をされており、地域を含めた博物館の将来を考える機会となるでしょう。

### 【千葉県立房総のむら】

昭和50（1975）年に開館した風土記の丘資料館と昭和61（1986）年に開館した房総のむらを平成16（2004）年に統合しました。千葉県の伝統的な生活様式や技術を直接体験したり、県内各地から出土した考古遺物や、再現された商家・武家屋敷・農家などの展示を通して歴史を学ぶことができる博物館で、県内博物館の中でも来館者数が多く、またインバウンド需要も高く推移しています。な

お、令和5（2023）年4月にリニューアルオープンした風土記の丘資料館のある「風土記の丘エリア」には、国指定史跡の「龍角寺古墳群・岩屋古墳」や国指定重要文化財である「旧学習院初等科正堂」など3棟の指定文化財建造物があります。

#### 【香取市佐原】

香取市佐原は、平成8（1996）年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された近世以降の町並みを色濃く残す地域です。町中にはかつて水運で栄えた佐原のたたずまいを思わせる小野川が流れ、江戸時代後期に日本全国の実測図を完成させた伊能忠敬に関する、多数の国宝を含む資料を展示する「伊能忠敬記念館」、国指定重要無形民俗文化財である「佐原の山車行事」に関する展示がある「山車会館」、県指定有形文化財の「三菱銀行佐原支店旧本館」など、多くの見どころがあります。

#### 【航空科学博物館】

平成元（1989）年に開館した日本初の航空専門の博物館です。館内には航空機関係の実物資料が展示されており、館外にも多数の航空機が展示されています。隣接する成田空港A滑走路を館内外から眺めることができます。

### ◆Cコース（銚子・旭方面）（バス）

コースのコンセプトは、銚子市と旭市にまたがる銚子半島を舞台に、地質遺産を含む自然の保護に加え、それらを教育やツーリズムに積極的に活用し、地域の持続的な活性化を目的とするジオパークの理念、および東日本大震災の記憶を伝える施設を巡ることです。旭市防災資料館や銚子ジオパークミュージアムといった小規模施設を見学し、地域と博物館の連携を考える機会とします。

#### 【旭市防災資料館】

東北地方を中心に甚大な被害を及ぼした東日本大震災では、千葉県太平洋岸に位置する旭市でも16人もの死者・行方不明者をもたらす津波被害が発生しました。その記憶を後世へと伝えるため平成26（2014）年7月19日に開館した防災資料館では、津波に関する展示のほか、地震の揺れ、液状化原発事故風評被害などに関する資料も展示しています。

#### 【旭市飯岡刑部岬（ぎょうぶみさき）展望館】

銚子市から旭市にかけての銚子半島南岸には「屏風ヶ浦（びょうぶがうら）」と呼ばれる高さ20～60メートルの断崖が東西約10キロにわたって続き、「東洋のドーバー」とも称されます。この屏風ヶ浦の西端に位置する高さ約60メートルの刑部岬からは、太平洋と九十九里浜の湾曲した長い海岸線が一望できます。旭市を襲った津波をこの場所から撮影した映像は今でもインターネット上で見ることができます。

#### 【銚子ジオパークミュージアム】

銚子ジオパークは全国に46カ所ある「日本ジオパーク」のひとつで、その展示施設である銚子ジオパークミュージアムでは、銚子の大地の成り立ちのほか、それにかかわる人の暮らしや歴史、銚子の自然などを学ぶことができます。

### 【犬吠埼（いぬぼうさき）付近】

犬吠埼は関東最東端に位置し、その海岸に面した「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」は国の天然記念物に指定され、約 1.2 億年前の浅い海でできた地質構造や生痕化石などが見られます。また海の難所として知られる犬吠埼に建つ「犬吠埼灯台」は、明治 7 (1874) 年に建設された世界灯台百選の一つであり、令和 2 (2020) 年に国の重要文化財に指定されました。灯台の隣に建つ「犬吠テラステラス」には銚子ジオパークビジターセンターもあります。

### 【銚子電鉄】

銚子電気鉄道株式会社は銚子市内の 6.4 キロを走る銚子電気鉄道線（銚子電鉄）を運営する鉄道会社であり、「ぬれ煎餅」などを販売する製菓会社でもあります。大正 12 (1923) 年に開業した銚子電鉄は度重なる経営危機に見舞われつつも、「涙ぐましい」経営努力により営業を続け、地元や根強いファンにも支えられています。銚子ジオパーク推進協議会にも名を連ね、銚子のジオツーリズムにも一役買っています。